

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 新 県立高校生海外型農業実習推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 学校支援課 産業教育係 電話番号：058-272-1111 (内 3881)

E-mail：cl7782@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 **8,994 千円 (前年度予算額： 0 千円)**

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	8,994	0	0	0	8,994	0	0	0	0
決定額	8,994	0	0	0	8,994	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和3年度に限り休止した農業高校生海外実習派遣において、生徒が海外での農場実習で身に付ける予定であった学習内容について、可能な限り国内(農業高校農場)での代替実習で身に付けられるよう、実習環境の充実を図ることにより、本県の農業を担う若手農業経営者のリーダー育成を継続する。

(2) 事業内容

省力・機械化などのスマート農業への対応、IoT化の推進農業の国際水準GAP・HACCP農場への対応、岐阜県ブランドの創出による農業のグローバル化への対応、有機農法や環境に配慮した農業による持続性農業への対応など、海外実習派遣事業で学ぶ予定であった農業の知識・技術を国内(学校農場)で可能な限り学ぶことが出来るように、農業実習環境を整備する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
消耗品費	1,444	種子、農薬等
修繕料	4,600	集約施設園芸用の制御装置、食品製造機器等の修繕
飼料費	500	研究、学習に必要な飼料
役務費	600	備品や修繕に伴う費用
原材料費	50	地域ブランドを強化できる商品開発等
備品購入費	1,800	IoT 機器等の環境整備
合計	8,994	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第3次岐阜県教育ビジョン

基本方針1 んふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成

目標3 国際理解教育の充実とグローバルに活躍する人材の育成

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 国際感覚を身に付け、広い視野に立って積極的に農業に取り組む地域の担い手を育成する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
	(R)	(R) (R)	(R)	(R)	%

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナの影響によりやむを得ず休止する農業高校生海外実習派遣事業の目的を、出来る限り代替する臨時的な事業であることから、指標の設定にはなじまない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価)	<p>○</p> <p>従来の派遣事業においては、派遣生の約3割が農業自営者、約5割が農業に関連する公務員、組合、企業等への従事または農業関連産業への従事を目指した進学者となっていることから、臨時的な事業としても本来の事業目的の一部であっても達成できるように、事業内容を臨時的に変更して実施する必要性が高い。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	<p>○</p> <p>本来であれば海外へ渡航して海外実習を通して習得する知識・技術であるが、その目的の一部だけでも学校農場での代替実習により補うことで、担い手育成を臨時的に継続できる。</p>

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>安全に渡航ができる状況になれば、予算流用協議を経て、本来の農業高校生海外実習派遣事業として実施する。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>本県の農業人材を育成している本事業は、毎年確実に成果を上げていることから県民からの評価も非常に高い。したがって、新型コロナウイルス感染症の終息を見極め、安全に渡航が可能になった段階で、早急に本来の事業である農業高校生海外実習派遣事業として実施すべきである。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【○○課】
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	